

記憶に残る鮮烈な響き!

ハオチェン・チャン

Haochen Zhang Piano Recital

ピアノ・リサイタル

Program

ベートーヴェン	ピアノ・ソナタ 第31番 変イ長調 Op.110
ショパン	ピアノ・ソナタ 第3番 ロ短調 Op.58
リスト	バラード 第2番 ロ短調 S.171
ドビュッシー	前奏曲集 第2巻より 『月の光がふりそそぐテラス』、『水の精』、『花火』
ストラヴィンスキー	ベートルーシュカからの3楽章 ※予定

ヴァン・クライバーン国際コンクール
辻井伸行氏と同時優勝!
フィラデルフィア管、イスラエル・フィル、ロンドン・フィルと続々共演!!

2013/6/22 土

14:00開演(13:15開場)

東京芸術劇場 [コンサートホール]

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より 徒歩2分

S席:¥4,000 A席:¥3,000 B席:¥2,000

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
※曲目変更などのために払い戻しはいたしませんので予めご了承ください。
※学生割引はアイエムシーチケットセンターのみ取扱。各種割引の併用不可。

- 主催: アイエムシーミュージック
- 後援: 中華人民共和国大使館 文化部(申請中)
- お問合せ・お申込: アイエムシーチケットセンター

03-3401-9760

[2012年11月1日(木)午前10時より一般発売]

アイエムシー友の会「ショパン倶楽部」優待割引あり。申込と同時入会可。
<http://www.imc-music.net/> (ホームページからもお申込いただけます)

[ブレイガイド]

- 東京芸術劇場ボックスオフィス 03-5391-3010
- 電子チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:183-622)
- イープラス <http://eplus.jp/>
- ローソンチケット 0570-000-407(Lコード39698)
- 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

“近年稀に見る素晴らしい才能の持ち主だ。世界中を探しても「ペトルーシュカ」をあれ程に演奏出来る人はなかなか居ない。その描写は鮮明で、いとも簡単そうに、完璧に弾きこなすので、ピアノ作品の中で最も難易度の高いものであることを忘れさせてしまう程である。”

—— アンジェイ・ヤシンスキ(シヨパン国際ピアノコンクール審査委員長)

Haochen Zhang 張昊辰

Profile

ハオチェン・チャン プロフィール

“魅力、繊細な叙情性、誘引力を、これほどの絶妙なバランスで兼ね揃えた奇才はなかなか居ない” —ウリー・エプシュタイン博士【エルサレム・ポスト誌】

第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて金賞を受賞して以来、ハオチェン・チャンはアメリカ・ヨーロッパ・アジアでその深く繊細な音楽性と大胆な想像力、目を見張るほどのテクニックで聴衆を魅了してきている。2010年から2011年にかけてフォートワースで行われたクライバーン・コンサート・シリーズでは“熟練した演奏家を思わせるプログラムの中、目くらむばかりのテクニックを披露したかと思えば圧倒される程の洗練さをも持ち合わせている”【グラス・モーニングニュース紙】と絶賛され、ボストン・グローブ誌の批評家、マシュー・グエリエリ氏はハオチェン・チャンの演奏を“溢れんばかりの卓越したテクニックと、それと同じだけの極めて詩的な性質を持ち合わせている。繊細でデリケートな想像力を持ちつつ、多大な可能性を秘めているピアニストだ”と評した。

熱情と洞察力を兼ね揃えているアーティスト、ハオチェン・チャンは毎年恒例の大きなコンサートに加えて、新しい都市でのデビュー・リサイタルを開拓し続けている。2011年-2012年シーズンのハイライトはサンフランシスコ交響楽団及びフォートワース交響楽団との共演、クラヴィスセンター、サンタフェ室内音楽祭、カーメル・センター劇場、10月の日本ツアー等が挙げられる。

また春にはルーブル美術館にてパリ・デビュー、ウィーン室内管弦楽団とのウィーン・デビューを果たした。室内楽にも熱心なハオチェン・チャンは東京クワルテットとのウッズホール海洋生物学研究所(マサチューセッツ州)の特別祝祭イベント、上海クワルテットとパークシャーマウンテン地方(マサチューセッツ州)の山岳音楽祭出演なども予定している。

今までにハオチェン・チャンは、フィラデルフィア管弦楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ロチェスター・フィルハーモニー管弦楽団、コロラド交響楽団、パシフィック交響楽団、カンザス・シティ交響楽団、香港フィルハーモニー管弦楽団、シンガポール・チャイニーズ・オーケストラ、ドミニカ国立交響楽団等のオーケストラと共演している。またドレスデン音楽祭、イスラエル・フィル75周年記念音楽祭、BNDES国際ピアノコンクール音楽祭にも招待されるなど、北京、シンガポール、香港、東京、テルアビブ、エルサレム、ベルリン、ミュンヘン、ドレスデン、ローマ、チボリ、ベオグラード等を始めとする世界中の都市で活動の場を広げている。

ハオチェン・チャンがヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて演奏したストラヴィンスキー『ペトルーシュカからの3楽章』、シヨパン『24の前奏曲 Op.28』、メイズン・ベイツ『ホワイト・ライズ・フォー・ロマックス』、リスト『スペイン狂詩曲』は批評家の絶賛を浴び、ハルモニア・ムンディ(米国)より2009年にCDリリースされる。またピーター・ローゼンの2009クライバーンコンクール受賞者ドキュメンタリーでも特集を組まれる。驚くべきことにテキサス州ではリリースから2週間で完売となり、直ぐに追加生産された。コンクールの様子は完全版を以下のウェブサイトから視聴可能である。www.cliburn.tv

上海生まれのハオチェン・チャンは、上海音楽院小学校にて学んだ後、2001年に11歳で深圳芸術学校に入学し、但昭義に師事する。2012年、ゲイリー・グラフマンのもとで研鑽を積んでいたカーティス音楽学校を卒業。

趣味は多岐に渡り、文学・科学・歴史物等の読書や、詩の創作、即興でポップスの演奏などもある。また卓球やスヌーカーも得意である。現在はフィラデルフィアに在住。

